

2011 年度報告書（研究員）

|  |        |
|--|--------|
| 氏 名  | 大野哲也   |
| 職 位  | 短時間研究員 |
| <p>研究概要</p> <p>2011 年度は、主に観光研究と地域社会学に取り組んだ。</p> <p>具体的には、8月に三重県熊野市において、スポーツを利用した地域おこしについて調査を行った。</p> <p>その後、9月にタイとカンボジアにおいてバックパッカー・ツーリズムについての調査を行った。</p> <p>これらの調査については、下記の論文、レポートにまとめた。</p> <p>また、バックパッカー・ツーリズムについては、2012年6月に単著として出版される予定である。</p>   |        |
| <p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>「標準化する『放浪』 -ネパール・カトマンズにおける日本人宿の形成過程から-」『立命館大学人文科学研究所紀要』2012年3月。</p> <p>「スポーツを核とした地域活性化の可能性 -三重県熊野市におけるソフトボール大会の調査から」『社会調査報告書 地域にまなぶ 第16集』近刊。</p> <p>「危険を消費する -日本人バックパッカーが経験するリスクとスリルの社会的意味-」『コンタクト・ゾーン 5号』京都大学人文科学研究所、近刊。</p> <p>『旅を生きる人びと バックパッカーの人類学』世界思想社、近刊。</p> |        |

